

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	キャリアアップセミナーB	
科目基礎情報							
開設学科	スポーツ健康学科		コース名	スポーツビジネスコース		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	演習			
教科書/教材	セミナー、資格ごとに配布						
担当教員情報							
担当教員	セミナー開催協会などの講師			実務経験の有無・職種		有・スポーツ関連業界	
学習目的							
認定ストレッチングトレーナー・パートナー、キネシオテーピング、コンプレフロス、認定コンディショニングインストラクターなどの短期集中講座を受講し、様々な資格の取得や特殊な技術の取得を2つ目指します。 資格や技術の習得をすることで就職やスポーツトレーナー、スポーツ指導者として、活動や活躍の幅を広げます。 それによりそれぞれの活動が有利に進みます。							
到達目標							
「仕事に就く」「人の体を扱う」「指導する」ことを見据え、資格や特殊技術を取得することで個々のレベルアップをねらいます。 また、資格を取得することで就職、各種実習などの選択の幅を広げ、個人が活躍するためのキャリアアップにつながるようにしていきます。							
教育方法等							
授業概要	資格取得のための短期講座。 短期講座を受講、終了後にテスト受け合格をすると資格取得が可能。						
注意点	一回の欠席でも資格取得は不可能になります。 講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい。 身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	テスト合格で資格取得				
	小テスト	%					
	レポート	%					
	成果発表 （口頭・実技）	%					
	平常点	%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	幼児体育指導とは			幼児体育について理解します			
2回	幼児体育指導員とは			幼児体育指導員の役割・内容について理解します			
3回	発育発達について①			発育発達について理解します			
4回	発育発達について②			発育発達について理解します			
5回	指導プログラム①			指導プログラムについて理解します			
6回	指導プログラム②			指導プログラムについてより深く理解します			
7回	マット運動①			マット運動の基礎動作について理解します			
8回	マット運動②			マット運動の基礎動作を習得します			
9回	マット運動③			マット運動の指導技術を習得します			
10回	マット運動④			マット運動の補助技術を習得します			
11回	縄跳び①			縄跳びの基本動作（前回り、後ろ回り、交差とび等）を習得します			
12回	縄跳び②			縄跳びの応用動作（あやとび、二重跳び等）を習得します			
13回	縄跳び③			縄跳びの指導技術を習得します			
14回	跳び箱①			跳び箱の基本動作を習得します			
15回	跳び箱②			跳び箱の指導技術を習得します			

授業計画（１６回～３０回）		
回	授業内容	各回の到達目標
１６回	キネシオテーピングとは	キネシオテーピング理論について理解します
１７回	テープの取り扱い方	適切にテープを取り扱う事ができます
１８回	下腿のテーピング①	下腿のテーピングについて理解します
１９回	下腿のテーピング②	下腿のテーピングが実践できます
２０回	大腿のテーピング①	大腿のテーピングについて理解します
２１回	大腿のテーピング②	大腿のテーピングが実践できます
２２回	腰部のテーピング①	腰部のテーピングについて理解します
２３回	腰部のテーピング②	腰部のテーピングが実践できます
２４回	肩部のテーピング①	肩部のテーピングについて理解します
２５回	肩部のテーピング②	肩部のテーピングが実践できます
２６回	上腕のテーピング①	上腕のテーピングについて理解します
２７回	上腕のテーピング②	上腕のテーピングが実践できます
２８回	前腕・手のテーピング①	前腕・手のテーピングについて理解します
２９回	前腕・手のテーピング②	前腕・手のテーピングが実践できます
３０回	応用	応用テクニックを理解し、実践することができます